

## スポーツ振興等調査特別委員会会議記録

スポーツ振興等調査特別委員会委員長 城内 愛彦

- 1 日時  
平成 27 年 4 月 15 日（水曜日）  
午前 10 時 3 分開会、午前 10 時 13 分散会
- 2 場所  
第 4 委員会室
- 3 出席委員  
城内愛彦委員長、佐々木朋和副委員長、樋下正信委員、岩崎友一委員、佐々木博委員、飯澤匡委員、大宮惇幸委員、伊藤勢至委員、名須川晋委員、小野寺好委員
- 4 欠席委員  
吉田敬子委員
- 5 事務局職員  
今担当書記、伊藤担当書記
- 6 説明のため出席した者  
なし
- 7 一般傍聴者  
なし
- 8 会議に付した事件  
(1) 委員席の変更について  
(2) 委員会の意見の取りまとめについて
- 9 議事の内容

○**城内愛彦委員長** おはようございます。

ただいまからスポーツ振興等調査特別委員会を開会いたします。

なお、吉田敬子委員は欠席ですので、御了承願いたいと思います。

これより、本日の会議を開きます。本日はお手元に配付してあります日程により、会議を行います。

初めに、委員席の変更についてお諮りをいたします。今回の議員の辞職に伴う諸般の事情により、委員席につきましては、現在御着席のとおりといたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**城内愛彦委員長** 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

次に、2、委員会の意見の取りまとめについて、を議題といたします。

当委員会は、本日が最終の委員会となろうかと思っております。つきましては、これまで調査

してまいりましたことについて、6月の定例会で報告を行うこととなりますので、この際、意見の取りまとめを行いたいと思います。

お手元に、これまでの調査経過を取りまとめた資料と、報告の骨子案を配付しておりますが、取りまとめに当たりまして何か御意見はありませんでしょうか。

骨子案をお読みいただきまして、御意見を伺いたいと思いますので、少しお時間をとりたいと思います。

○伊藤勢至委員 現在の状況にありましては、来年の国体を成功させるということが大眼目であるわけではありますが、ここで触れるのはちょっとどうかとも思うのですが、国体完全成功の後には、ラグビーワールドカップ2019の釜石市での開催が決まっております。従いまして、今からここに盛り込む必要はないのかもしれませんが、当面は私どもが、国体を成功させ、後に、というタイトルで始めた復興スクラム議連がありますけれども、ぜひ情報収集等をしてながら、この委員会は6月以降も継続をするわけでありますので、その辺も含めて、どこかにちらっとでもいいけれども触れていただければありがたいという思いがあります。

○城内愛彦委員長 今回の御意見につきましては、4、委員会の意見②としまして、ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピックなどに向けた事前合宿の誘致やイベントの開催等と一応盛り込ませていただきましたが、よろしいでしょうか。

○伊藤勢至委員 結構です。ちょっと字が細かいな。

○城内愛彦委員長 反省として次回からは活字を大きくしたいと思います。

○大宮惇幸委員 来年に迫っている希望郷いわて国体について、県民の盛り上がりというもの何となく私はいま一つではないかという気がしています。県内各地からおいでの方委員さん方ですから、どうでしょうか。私の地域はちょっと、昭和45年の岩手国体の時とは全然違う雰囲気、いまいち盛り上がりがないな、という気がしています。成功させることはもちろんですが、成功のもとになるのは盛り上がりであり、今後そういう対応をしていく必要があるのではないかと感じています。

○城内愛彦委員長 今回の御意見に関連しまして何かありませんか。

○□下正信委員 実は具体的に、我々の地域にある太田テニスコートはテニス競技の会場になっていますが、盛岡市のほうから地元の自治会協議会のほうに、沿道にフラワーポットを数キロメートルほど飾ってくれないかという依頼が来ているという話があるようです。地元の方々は、当然国体に備えて協力をお願いしたいということで、協力してやるのは大変いいことだと盛り上がっているというか、そういう話は実際出ています。ですので、大宮委員がおっしゃるように、地域の方々にも何かお願いするというか、そういうことをどんどん、国体局のほうから発信していただいて、協力していただけるようなことをやっていけば、盛り上がりにもつながっていくのかなと、今お話を聞いて感じたところでございます。これは意見ということで。

○城内愛彦委員長 ありがとうございます。ほかにございませんか。

○**名須川晋委員** 委員会の意見⑦に集約されるのかなとは思いますが、スポーツ庁の設置もいよいよ今年度だったかと思えます。こうしたスポーツ行政の一元化という流れがありまして、生きがいとしてのスポーツとか、あるいは障がい者のスポーツとか、アスリートのスポーツとか、スポーツに親しむ動機というのは様々あると思うのですが、岩手県の場合は、それがいろんな所管に分かれていて、これからの時代には沿わないのかなと思っております。そういう意味でも、スポーツ行政の一元化を図っていく必要があると思えますし、そのためには岩手県もスポーツ振興計画の策定が必要ではないかということで、今現在それらしきものはありますが、教育委員会の所管になっていて障がい者スポーツにはほとんど触れられていないという状況がありますので、これについても盛り込んでいただければいいなと思いつつも、付託事件が希望郷いわて国体及び希望郷いわて大会と県民の健康づくり等に関する調査ですから、それに合うかどうかわかりませんが、そういうふうな感じを得ましたところです。

○**城内愛彦委員長** ほかに御意見はありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**城内愛彦委員長** それでは、ただいまいただいた御意見を参考にして、報告を行いたいと思えます。なお、詳細については、当職に御一任を願いたいと思えますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**城内愛彦委員長** 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

それでは、先ほども申し上げましたが、本委員会の調査は本日をもって最後になるかと思えますので、この際、一言御挨拶を申し上げたいと思えます。

平成25年9月定例会において設置されて以来、本日に至るまで、付託事件について、終始、熱心に調査を重ねていただいたことに対し、心から敬意を表する次第であります。

また、私も、委員長の重責を何とか全うすることができました。佐々木朋和副委員長を初め、委員の皆様の御支援と御協力のたまものと存じております。この場をお借りして、深く感謝を申し上げます。二巡目の国体が成功することを願って、挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

以上をもって、全部終了いたしました。本日は、これをもって、散会いたします。

委員の皆様、本当にありがとうございました。